

運動部経験者に尋ねた スポーツを始めたきっかけ

(影響を受けた“メディア”のアンケート結果)

- ・「あの選手」に憧れて… (P. 10)

40～60代
「長嶋」「王」



20代
「イチロー」「カズ」

- ・「あの漫画・アニメ」に触発されて… (P. 11)

「アタック No. 1」
「I-7をねらえ！」
「巨人の星」



「キャプテン翼」
「スラムダンク」

- ・「あのチーム」が好きだから… (P. 12)

いつの時代も「読売ジャイアンツ」

お問い合わせ先

学校法人産業能率大学
企画広報部企画広報課

電話：03-3704-9040

ファクス：03-3704-9404

産業能率大学（東京都世田谷区）の付属施設「スポーツマネジメント研究所」（所長：宮内ミナミ・産業能率大学副学長兼経営学部長）は、運動部経験者を対象に、スポーツを始めたきっかけを尋ねました。なお、この調査では、親や友人の薦め、地域性などの影響ではなく、「好きな選手」や「好きなチーム」「好きな漫画・アニメ」など、“マスメディアを通じた影響”を探っています。

調査は、過去の本学の調査（3万人対象、2012年5月15日～20日実施）で140種類のスポーツのいずれかについて「運動部や地域クラブに所属」または「選手として大会に出場したこともある」と回答した人を対象に、2013年1月16日に実施。500人（男性：341人、女性：159人）から回答を得ました。取り組んだことのあるスポーツについて、それぞれ具体的に「憧れの選手」「好きな漫画・アニメ」「好きなチーム」「きっかけとなった映画・ドラマ」「きっかけとなったゲーム」などを尋ねました。

調査概要は以下のとおりです。

《調査概要》

調査期間：2013年1月16日

調査方法：インターネットリサーチ

調査対象：運動部・地域クラブへの所属経験者

本学が2012年5月15日～20日にかけて3万人を対象に実施した調査で、野球・サッカー等140種類のスポーツのいずれかについて取り組んだことのあるものを尋ねていました。さらに、取り組んだことのあるスポーツは、その“取り組み方のレベル”を「1. 遊びやレジャーとしてやった」「2. 学校体育や地域行事などでやった」「3. 習い事でレッスンを受けていた」「4. 運動部や地域クラブに所属していた」「5. 選手として大会に出場したこともある」の5択で把握していました。今回の調査では、いずれかのスポーツで「4」「5」を選択した人（15494人）を抽出し、運動部・地域クラブへの所属経験者を対象に実施しました。

サンプル：500人

属性：

【性別】	男性	341人（68.2%）	【居住地】	北海道・東北	47人（9.4%）
	女性	159人（31.8%）		関東	234人（46.8%）
【年代】	20代	53人（10.6%）	北陸・甲信越	22人（4.4%）	
	30代	92人（18.4%）	東海	57人（11.4%）	
	40代	150人（30.0%）	近畿	87人（17.4%）	
	50代	153人（30.6%）	中国	19人（3.8%）	
	60代	52人（10.4%）	四国	10人（2.0%）	
			九州・沖縄	24人（4.8%）	

《調査結果》

1. 取り組んだことのあるスポーツ

1-1 取り組んだことのあるスポーツ

運動部経験者に対して、「習い事・部活動・地域クラブ等で取り組んだことのあるスポーツ」を尋ねた結果、最も割合が高いのは「野球」で40.0%、これに「テニス」(32.0%)、「サッカー」(22.2%)、「水泳」(20.2%)、「ソフトボール」(20.2%)が2割以上で続いています(表1)。

表1 これまでに習い事・部活動・地域クラブ等で取り組んだことのあるスポーツ(複数選択)

		度数	%
順位	全体	500	100.0
1	野球	200	40.0
2	テニス	160	32.0
3	サッカー	111	22.2
4	水泳	101	20.2
5	ソフトボール	100	20.0
6	バレーボール	99	19.8
7	スキー	94	18.8
8	バスケットボール	89	17.8
9	ゴルフ	81	16.2
10	卓球	73	14.6
11	バドミントン	59	11.8
12	陸上競技	57	11.4
13	柔道	46	9.2
	剣道	46	9.2
	ボウリング	46	9.2
16	ドッジボール	31	6.2
	登山	31	6.2
18	フットサル	29	5.8
19	アイススケート	26	5.2
	ビリヤード	26	5.2
21	ラグビー	24	4.8
22	スキューバダイビング	21	4.2
23	エアロビクス	19	3.8
24	弓道	18	3.6
	体操競技	18	3.6
	スノーボード	18	3.6
27	空手道	14	2.8
	バレエ	14	2.8
29	ハンドボール	13	2.6
30	相撲	11	2.2
	ダーツ	11	2.2
32	アメリカンフットボール	10	2.0
	モータースポーツ	10	2.0
	乗馬	10	2.0

		度数	%
順位	全体	500	100.0
35	ボクシング	9	1.8
	社交ダンス	9	1.8
	自転車競技	9	1.8
38	ポートボール	8	1.6
	少林寺拳法	8	1.6
40	ジャズダンス	7	1.4
	サーフィン	7	1.4
42	トランポリン	6	1.2
	スケートボード	6	1.2
	一輪車	6	1.2
45	合気道	5	1.0
	キックボクシング	5	1.0
	射撃	5	1.0
	ヒップホップダンス	5	1.0
	インラインスケート	5	1.0
	アイスホッケー	5	1.0
	ボート	5	1.0
ヨット	5	1.0	
53	レスリング	4	0.8
	柔術	4	0.8
	アーチェリー	4	0.8
	フラメンコ	4	0.8
	カヌー	4	0.8
58	新体操	3	0.6
	チアリーディング	3	0.6
	フラダンス	3	0.6
	ボディーボード	3	0.6
62	ウエイトリフティング	2	0.4
	バトントワリング	2	0.4
	カーリング	2	0.4
	その他	8	1.6

1-2 経験したスポーツの性別の結果

経験したスポーツの上位10項目について男女別の割合をみると、「野球」は男性58.4%に対して女性は0.6%にとどまります。一方、「テニス」は男性22.9%に対して女性は51.6%に達しています（表2）。

男性に限ってみると、最も高いのは「野球」で58.4%、これに「サッカー」（29.6%）、「ソフトボール」（23.5%）、「テニス」（22.9%）が続いています（表3）。

女性では、「テニス」が最も高く51.6%、これに「バレーボール」（39.6%）、「水泳」（23.9%）、「スキー」（23.3%）が続いています（表4）。

男性の割合と女性の割合を比較してみると、「野球」は特に男性が高い一方で女性が低く、「サッカー」「柔道」「ソフトボール」も男女で10ポイント以上の差があります（表5）。一方、「バレーボール」「テニス」は女性の割合が男性の割合よりも30ポイント弱高い結果が出ています（表6）。

表2 経験したスポーツで上位10項目の男女別の割合

順位		全体 % (n=500)	男性 % (n=341)	女性 % (n=159)
1	野球	40.0	58.4	0.6
2	テニス	32.0	22.9	51.6
3	サッカー	22.2	29.6	6.3
4	水泳	20.2	18.5	23.9
5	ソフトボール	20.0	23.5	12.6
6	バレーボール	19.8	10.6	39.6
7	スキー	18.8	16.7	23.3
8	バスケットボール	17.8	18.8	15.7
9	ゴルフ	16.2	18.2	11.9
10	卓球	14.6	14.4	15.1

表3 男性が経験したスポーツの上位10項目

順位	全体	度数	%
	全体	341	100.0
1	野球	199	58.4
2	サッカー	101	29.6
3	ソフトボール	80	23.5
4	テニス	78	22.9
5	バスケットボール	64	18.8
6	水泳	63	18.5
7	ゴルフ	62	18.2
8	スキー	57	16.7
9	卓球	49	14.4
10	柔道	45	13.2

表4 女性が経験したスポーツの上位10項目

順位	全体	度数	%
	全体	159	100.0
1	テニス	82	51.6
2	バレーボール	63	39.6
3	水泳	38	23.9
4	スキー	37	23.3
5	バドミントン	27	17.0
6	バスケットボール	25	15.7
7	卓球	24	15.1
8	ソフトボール	20	12.6
9	ゴルフ	19	11.9
10	ボウリング	18	11.3

表5 男女別で比較して男性の割合が高いスポーツ

順位	スポーツ	全体 % (n=500)	男性 % (n=341)	女性 % (n=159)	男性 %－ 女性 %
1	野球	40.0	58.4	0.6	57.8
2	サッカー	22.2	29.6	6.3	23.3
3	柔道	9.2	13.2	0.6	12.6
4	ソフトボール	20.0	23.5	12.6	10.9
5	ラグビー	4.8	7.0	0.0	7.0
6	フットサル	5.8	7.9	1.3	6.6
7	ゴルフ	16.2	18.2	11.9	6.3
8	剣道	9.2	11.1	5.0	6.1
9	空手道	2.8	4.1	0.0	4.1
10	相撲	2.2	3.2	0.0	3.2

表6 男女別で比較して女性の割合が高いスポーツ

順位	スポーツ	全体 % (n=500)	男性 % (n=341)	女性 % (n=159)	男性 %－ 女性 %
1	バレーボール	19.8	10.6	39.6	-29.0
2	テニス	32.0	22.9	51.6	-28.7
3	エアロビクス	3.8	0.9	10.1	-9.2
4	バドミントン	11.8	9.4	17.0	-7.6
5	バレエ	2.8	0.6	7.5	-6.9
6	スキー	18.8	16.7	23.3	-6.6
7	乗馬	2.0	0.3	5.7	-5.4
8	水泳	20.2	18.5	23.9	-5.4
9	ドッジボール	6.2	4.7	9.4	-4.7
10	スキューバダイビング	4.2	2.9	6.9	-4.0

1-3 経験したスポーツの年代別の結果

経験したスポーツの回答を年代別に分けてみると、いずれの年代も「野球」が最も高い結果です。2位は20代と30代では「サッカー」、40代から60代では「テニス」（60代は「ソフトボール」も同率）で、年代によって順位に差がみられます。3位のスポーツも20代は「水泳」、30代は「バスケットボール」、40代は「サッカー」、50代は「バレーボール」です（60代は2位に「テニス」「ソフトボール」が同率のため3位はなし）（表7）。

40代を除いて、20代～30代と50代～60代の2群に分けて比較すると、「サッカー」は20代～30代の割合が50代～60代の割合より20ポイント弱も高く、同様に「フットサル」「バスケットボール」「水泳」「陸上競技」も10ポイント前後20代～30代の方が高い結果です（表8）。一方で、「テニス」は50代～60代が20代～30代よりも約17ポイント高く、「バレーボール」「スキー」「ゴルフ」「ボウリング」なども同様に50代～60代の割合がやや高い結果が見られます（表9）。

表7 経験したスポーツの年代別の結果（全体での順位の上位20項目）

全体 順位	スポーツ	全体 (n=500)		20代 (n=53)		30代 (n=92)		40代 (n=150)		50代 (n=153)		60代 (n=52)	
		%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位
1	野球	40.0	1	41.5	1	39.1	1	40.0	1	36.6	1	50.0	
2	テニス	32.0	5	18.9	6	19.6	2	38.0	2	35.9	2	38.5	
3	サッカー	22.2	2	34.0	2	30.4	3	24.7	7	15.0	17	9.6	
4	水泳	20.2	3	26.4	4	22.8	4	20.7	6	15.7	8	21.2	
5	ソフトボール	20.0	5	18.9	4	22.8	6	18.0	8	14.4	2	38.5	
6	バレーボール	19.8	8	13.2	7	15.2	12	11.3	3	30.1	4	28.8	
7	スキー	18.8	9	11.3	10	9.8	5	20.0	4	24.8	8	21.2	
8	バスケットボール	17.8	4	22.6	3	23.9	8	14.7	9	13.1	7	25.0	
9	ゴルフ	16.2	15	7.5	10	9.8	8	14.7	5	20.9	5	26.9	
10	卓球	14.6	11	9.4	10	9.8	6	18.0	12	11.8	5	26.9	
11	バドミントン	11.8	11	9.4	14	8.7	11	12.0	9	13.1	13	15.4	
12	陸上競技	11.4	7	17.0	9	13.0	10	13.3	15	6.5	15	11.5	
13	柔道	9.2	19	5.7	10	9.8	17	5.3	14	10.5	10	19.2	
13	剣道	9.2	19	5.7	16	6.5	13	8.7	9	13.1	20	7.7	
13	ボウリング	9.2	15	7.5	19	4.3	14	6.7	12	11.8	10	19.2	
16	ドッジボール	6.2	19	5.7	21	3.3	18	4.7	19	5.2	10	19.2	
16	登山	6.2	32	1.9	15	7.6	15	6.0	15	6.5	20	7.7	
18	フットサル	5.8	9	11.3	7	15.2	18	4.7	36	1.3	39	0.0	
19	アイススケート	5.2	19	5.7	30	2.2	32	2.0	15	6.5	13	15.4	
19	ビリヤード	5.2	11	9.4	30	2.2	24	3.3	19	5.2	15	11.5	

表8 40代を除き年代を2群に分けて比較し、
20代・30代の割合が高いスポーツ（上位10項目のみ）

順位		全体 % (n=500)	A % 20代+30代 (n=145)	B % 50代+60代 (n=205)	A-B
1	サッカー	22.2	31.7	13.7	18.1
2	フットサル	5.8	13.8	1.0	12.8
3	バスケットボール	17.8	23.4	16.1	7.4
4	水泳	20.2	24.1	17.1	7.1
5	陸上競技	11.4	14.5	7.8	6.7
6	スノーボード	3.6	6.2	2.4	3.8
7	弓道	3.6	5.5	2.0	3.6
8	合気道	1.0	3.4	0.0	3.4
9	インラインスケート	1.0	2.8	0.0	2.8
10	自転車競技	1.8	3.4	1.0	2.5

表9 40代を除き年代を2群に分けて比較し、
50代・60代の世代の割合が高いスポーツ（上位10項目のみ）

順位	スポーツ	全体 % (n=500)	A % 20代+30代 (n=145)	B % 50代+60代 (n=205)	A-B
1	テニス	32.0	19.3	36.6	-17.3
2	バレーボール	19.8	14.5	29.8	-15.3
3	スキー	18.8	10.3	23.9	-13.6
4	ゴルフ	16.2	9.0	22.4	-13.5
5	ボウリング	9.2	5.5	13.7	-8.1
6	卓球	14.6	9.7	15.6	-6.0
7	剣道	9.2	6.2	11.7	-5.5
8	アイススケート	5.2	3.4	8.8	-5.3
9	バドミントン	11.8	9.0	13.7	-4.7
10	ドッジボール	6.2	4.1	8.8	-4.6

1-4 経験したスポーツの性年代別の結果

経験したスポーツを性年代別に分けると、男性では、いずれの年代も「野球」がトップですが、「サッカー」や「水泳」「ゴルフ」「柔道」などで順位の変動が見られます（表10）。

女性では、サンプルが少ないために留意が必要ですが、「水泳」「卓球」「ゴルフ」で順位に差があります（表11）。

表10 経験したスポーツの男性の年代別の結果（男性全体での上位10項目のみ）

順位	スポーツ	男性全体 % (n=341)		男性20代 % (n=45)		男性30代 % (n=66)		男性40代 % (n=92)		男性50代 % (n=97)		男性60代 % (n=41)	
1	野球	58.4	1	48.9	1	54.5	1	64.1	1	57.7	1	63.4	
2	サッカー	29.6	2	37.8	2	37.9	2	35.9	5	21.6	15	12.2	
3	ソフトボール	23.5	5	17.8	3	27.3	4	23.9	6	17.5	2	36.6	
4	テニス	22.9	7	15.6	7	16.7	3	25.0	2	24.7	3	31.7	
5	バスケットボール	18.8	3	24.4	5	21.2	7	16.3	10	14.4	5	24.4	
6	水泳	18.5	3	24.4	4	24.2	6	18.5	13	11.3	9	19.5	
7	ゴルフ	18.2	20	4.4	8	12.1	7	16.3	2	24.7	3	31.7	
8	スキー	16.7	10	8.9	11	9.1	10	15.2	2	24.7	8	22.0	
9	卓球	14.4	10	8.9	11	9.1	5	21.7	13	11.3	9	19.5	
10	柔道	13.2	13	6.7	8	12.1	12	8.7	7	16.5	5	24.4	

表11 経験したスポーツの女性の年代別の結果（女性全体での上位10項目のみ）

順位	スポーツ	女性全体 % (n=159)		女性20代 % (n=8)		女性30代 % (n=26)		女性40代 % (n=58)		女性50代 % (n=56)		女性60代 % (n=11)	
1	テニス	51.6	1	37.5	3	26.9	1	58.6	1	55.4	1	63.6	
2	バレーボール	39.6	1	37.5	1	38.5	3	24.1	1	55.4	3	45.5	
3	水泳	23.9	1	37.5	4	19.2	3	24.1	4	23.2	8	27.3	
4	スキー	23.3	4	25.0	7	11.5	2	27.6	3	25.0	11	18.2	
5	バドミントン	17.0	4	25.0	6	15.4	5	19.0	5	14.3	11	18.2	
6	バスケットボール	15.7	9	12.5	2	30.8	7	12.1	8	10.7	8	27.3	
7	卓球	15.1	9	12.5	7	11.5	7	12.1	7	12.5	2	54.5	
8	ソフトボール	12.6	4	25.0	7	11.5	12	8.6	10	8.9	3	45.5	
9	ゴルフ	11.9	4	25.0	19	3.8	7	12.1	5	14.3	14	9.1	
10	ボウリング	11.3	9	12.5	19	3.8	11	10.3	8	10.7	5	36.4	

2. スポーツを始めたきっかけ

2-1 スポーツを始めたきっかけ

経験のあるスポーツについて、スポーツを始めたきっかけとして少しでも影響を受けたものを尋ねました。ここでは親や友人の薦めや地域性ではなく、“メディア”にかかわる選択肢として「好きなチーム」「憧れの選手」「漫画・アニメ」「映画・ドラマ」「ゲーム」の5つを挙げ、複数選択で少しでも影響を受けたものをすべて選んでもらいました。

この結果、「野球」を始めたきっかけとして「チーム」「選手」の影響を受けたとする割合が5割を超えており、「テニス」や「サッカー」「バレーボール」「バスケットボール」では「漫画・アニメ」の影響を受けたとする割合がやや高い結果です（表12）。

個別のスポーツを始めたきっかけの回答をすべて統合し、スポーツ全体として始めるにあたり影響を受けたものの割合を算出すると、全体では「憧れの選手」がもっとも高い割合でした。ただし、性別に分けてみると、男性は「憧れの選手」がもっとも高いものの、女性は「漫画・アニメ」の割合がもっとも高い結果です（表13）。

表12 スポーツを始めたきっかけとして少しでも影響を受けたもの（複数選択）

順位	スポーツ	n	好きなチーム %	憧れの選手 %	漫画・アニメ %	映画・ドラマ %	ゲーム %
1	野球	200	53.0	51.5	24.0	4.0	3.5
2	テニス	160	0.0	18.8	39.4	2.5	1.9
3	サッカー	111	24.3	24.3	36.9	3.6	4.5
4	水泳	101	1.0	6.9	0.0	1.0	1.0
5	ソフトボール	100	11.0	12.0	8.0	2.0	3.0
6	バレーボール	99	12.1	14.1	41.4	6.1	1.0
7	スキー	94	0.0	3.2	0.0	7.4	1.1
8	バスケットボール	89	5.6	3.4	22.5	1.1	0.0
9	ゴルフ	81	0.0	29.6	4.9	3.7	8.6
10	卓球	73	1.4	9.6	0.0	1.4	1.4

表13 スポーツを始めたきっかけ（スポーツ全体を統合して集計）

順位	きっかけ	全体 %	男性 %	女性 %
1	憧れの選手がいて影響を受けたから	16.2	19.6	8.3
2	好きな漫画・アニメの影響を受けたから	15.2	13.4	19.6
3	好きなチームの影響を受けたから	9.9	12.9	2.7
4	映画・ドラマの影響を受けたから	5.6	6.6	3.4
5	ゲームの影響を受けたから	2.0	2.3	1.3

2-2 スポーツを始めるきっかけとして影響を受けた「憧れの選手」

スポーツを始めるきっかけとして「憧れの選手」に影響を受けたとした人に、具体的な選手の名前を自由記述で挙げてもらいました。自由記述で挙げられた名前の件数を集計したところ、もっとも多く名前があがったのはプロ野球「長嶋茂雄さん」、次いでプロ野球「王貞治さん」でした（表14）。

男性は「ON」が圧倒的な支持を受け、野球以外ではテニスやゴルフが目立ちます。女性は全体的に回答が少ないものの、運動部ではあまり存在しないボウリングの「中山律子さん」、ゴルフの「宮里藍さん」が1位でした。

年代別にみると、50代・60代は「長嶋茂雄さん」が1位ですが、40代は「王貞治さん」、30代は「秋山幸二さん」、20代では「イチローさん」が1位と、当たり前のことではありませんが年代によって影響を受けた選手が異なることをはっきりと確認できます。20代ではサッカー選手がベスト3に入っており、「三浦知良さん」が2位、「中山雅史さん」が3位です（表15）。

表14 スポーツを始める契機になった憧れの選手

順位	スポーツ選手（※敬称略）	全体 度数	男性 度数	女性 度数
1	長嶋茂雄	41	41	
2	王貞治	33	33	
3	ジョン・マッケンロー	9	8	1
4	ビョルン・ボルグ	8	7	1
5	中山律子	7	4	3
	イチロー	7	7	
7	宮里藍	5	2	3
	尾崎将司	5	4	1
	三浦知良	5	5	
	秋山幸二	5	5	

表15 スポーツを始める契機になった憧れの選手（年代別）

順位	20代	30代	40代	50代	60代
1	イチロー（5）	秋山幸二（4）	王 貞治（16）	長嶋茂雄（14）	長嶋茂雄（19）
2	三浦知良（4）	原 辰徳（3）	長嶋茂雄（8）	王 貞治（10）	王 貞治（6）
3	松井秀喜（3）	イチロー（2）	掛布雅之（3）	ボルグ（4）	金田正一（3） 矢島純一（3）
	中山雅史（3）	タイガー・ウッズ（2） 池山隆寛（2） クロマティ（2） 桑田真澄（2）			

2-3 スポーツを始めるきっかけとして影響を受けた「漫画・アニメ」

スポーツを始めるきっかけとして「漫画・アニメ」の影響を受けたとした人に、具体的に作品名を自由記述で挙げてもらいました。自由記述で挙げられた作品名を集計したところ、もっとも多く名前があげられたのは「エースをねらえ!」でした。これに「アタックNo.1」、「キャプテン翼」、「巨人の星」が続いています。性別にみると、女性は「エースをねらえ!」「アタックNo.1」「サインはV!」が高く、男性は「巨人の星」「キャプテン翼」「SLAM DUNK」が高い結果です(表16)。

年代別にみると、「アタックNo.1」「エースをねらえ!」「巨人の星」は40代~50代で上位にあり、「キャプテン翼」は30代~40代、「SLAM DUNK」は20代~30代で上位にきています(表17)。

表16 スポーツを始める契機になった漫画・アニメ

順位	漫画・アニメの名称	全体 度数	男性 度数	女性 度数
1	エースをねらえ!	56	9	47
2	アタックNo.1	36	3	33
3	キャプテン翼	30	27	3
4	巨人の星	28	28	0
5	SLAM DUNK	17	14	3
6	ドカベン	14	14	0
	サインはV!	14	3	11
8	侍ジャイアンツ	9	9	0
9	キャプテン	6	6	0
	タッチ	6	3	3
	テニスの王子様	6	2	4

表17 スポーツを始める契機になった漫画・アニメ(年代別)

順位	20代	30代	40代	50代	60代
1	SLAM DUNK (8)	キャプテン翼 (16)	エースをねらえ! (38)	アタックNo.1 (25)	ドカベン (2)
2	テニスの王子様 (5)	SLAM DUNK (7)	巨人の星 (9)	巨人の星 (18)	アタックNo.1 (2)
3	ドカベン (4)	ドカベン (2) タッチ (2) アタックNo.1 (2)	侍ジャイアンツ (9) キャプテン翼 (9)	エースをねらえ! (16)	

2-4 スポーツを始めるきっかけとして影響を受けた「チーム」

スポーツを始めるきっかけとして「チーム」の影響を受けたとした人に、具体的にチーム名を自由記述で挙げてもらいました。自由記述で挙げられたチーム名を集計したところ、もっとも多く名前があげられたのは「読売ジャイアンツ」でした。これに「阪神タイガース」「東京ヤクルトスワローズ（国鉄スワローズ含む）」が続いています（表18）。

年代別にみても、「読売ジャイアンツ」は各年代でトップです（表19）。

表18 スポーツを始める契機になったチーム

	チーム名	全体 度数	男性 度数	女性 度数
1位	読売ジャイアンツ	62	61	1
2位	阪神タイガース	17	17	0
3位	東京ヤクルトスワローズ（含む国鉄スワローズ）	12	11	1
4位	中日ドラゴンズ	10	10	0
5位	西武ライオンズ（含む西鉄ライオンズ）	9	9	0
6位	広島東洋カープ	8	8	0
	横浜ベイスターズ（含む大洋ホエールズ）	8	8	0
8位	オリックス・バファローズ（含む阪急ブレーブス、近鉄ファローズ）	7	7	0
9位	サッカー日本代表	6	5	1
10位	横浜F・マリノス（含む横浜フリューゲルス）	5	5	0

表19 スポーツを始める契機になったチーム（年代別）

	20代	30代	40代	50代	60代
1位	読売ジャイアンツ (6)	読売ジャイアンツ (7)	読売ジャイアンツ (22)	読売ジャイアンツ (19)	読売ジャイアンツ (8)
2位	横浜F・マリノス (含む横浜フリューゲルス)(4)	東京ヤクルトスワローズ(含む国鉄スワローズ)(5)	阪神タイガース (11)	東京ヤクルトスワローズ(含む国鉄スワローズ)(3)	
3位	横浜ベイスターズ (含む大洋ホエールズ)(3)	阪神タイガース (4)	中日ドラゴンズ (6)	中日ドラゴンズ(2) サッカー日本代表(2) 日立ベルフィーユ(2) 日本鋼管・パレー(2) 西武ライオンズ(含む西鉄ライオンズ)(2)	

※ 1票除く

以上